

暑い日が続いていますが、湿地再生・植生管理部会では、今年もミスアオイやオニバス等の貴重な植物の管理と、生育地周辺の整備を行っています。6・7月には生き物観察会が開催されたくさんの親子が参加してくれました。

# ねんこんだまり

No.37

2012年8月15日

## 麻機遊水地の生き物観察会を開催しました

2012.6.3(日) お散歩観察会

テーマ：第3工区にて、初夏の遊水地の生き物観察会  
参加者：子供15名、大人15名 合計30名  
主催：湿地再生・植生管理部会

植物の茎で笛を作ってもらい  
みんなで鳴らしながらお散歩  
しました



植物の名前や特徴を  
丁寧に教えて下さい  
ました

2012.7.28(土)  
遊水地のいきものを探そう+ECO

テーマ：第1工区にて、昆虫や魚、植物と触れ合う夏休みの  
思い出づくり  
参加者：子供55名、保護者35名、協賛17名、  
スタッフ33名(講師含む)  
主催：平井工業(株)、湿地再生・植生管理部会



水路では小魚やエビ  
原っぱでは様々な昆  
虫を見つけました



湧き水に触れたり、水量の  
確認等、遊水地と水の勉強  
もしました

## 第2回 専門委員会を開催しました

日本生態学会から、本協議会の活動への協力の申し入れがあり、7月31日に本協議会の学識委員との意見交換会を開催しました。日本生態学会から4名、本協議会からは学識委員4名が参加しました。麻機の魅力や価値を改めて見直し、今後協議会をどのように進める必要があるのか、話し合いました。

### 意見概要

#### 【麻機の魅力と価値】

- 全国的に失われつつある氾濫原の湿地であり、現在は人工的な攪乱により、貴重な環境が良好な状態で残されている。
- 都市近郊の自然再生として、自然と人との共生できる管理手法が確立できれば、世界にアピールできる。

#### 【麻機が抱える課題について】

- 麻機の価値が市民にあまり知られていない。もっと自然再生事業のPRが必要である。
- 地元の人が喜ぶ、新たな生業や楽しみを見出すことで、市民を巻き込み、自然再生の継続に繋がる。
- 生態学的には、公園には麻機にない植物は持ち込むべきではない。しかし、自然再生の物語として成り立つもので、植生がコントロールできるものであれば導入を検討しても良いのではないか。



《湿地再生・植生管理部会のBLOGとFacebookが出来ました！》

ブログ『麻機遊水地の自然を未来へつなぐ』 <http://asahata.eshizuoka.jp/>

フェイスブック『麻機 応援団』で検索してみてください [facebook.com/100004001244818](https://www.facebook.com/100004001244818)

ブログ



フェイスブック



【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomogawa/>